

ランドスケープデザイン

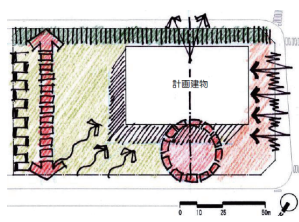
NIKKEN
EXPERIENCE, INTEGRATED

日建グループのランドスケープデザインは、単に建物の外構整備にとどまらず都市や環境への広がりを目指します。

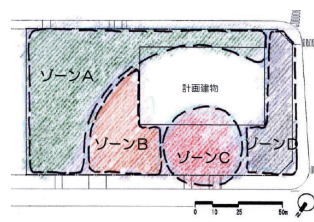
ランドスケープデザインという行為は、人間やその営みも「環境デザイン要素」の一つとしてとらえ、環境を流動的でダイナミックに変化する「現象」としてそのシステムを考察・構築し、「容」としての美しいランドスケープをつくり出すことです。単に表面的なしつらえではなく、時間的にも空間的にも広がりのあるランドスケープをご提案いたします。

デザインプロセスの手法

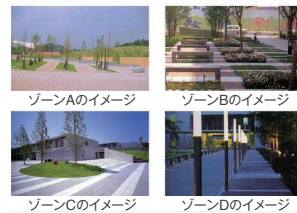
1 | 敷地環境の調査と分析



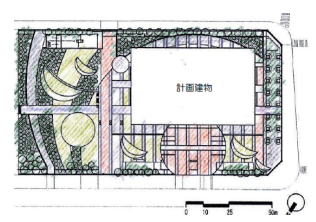
2 | ゾーニングの策定



3 | 空間イメージとグレード設定



4 | ランドスケープの計画案策定



主要実績

御殿山プロジェクト

御殿山は、東京・目黒川の河岸段丘に位置し、かつては徳川将軍家の品川御殿があり、江戸時代から続く桜の名所、景勝地でもあります。御殿山の原風景を現代に再生することを目指して、品格ある土地として醸成されてきた丘地形のあり様を、力強いランドスケープで顕在化し、土地の記憶を呼び起こすことを試みました。



東京スカイツリータウン®

天高くそびえたつ東京スカイツリー®のふもとを草木に覆われた「緑の丘」に見立てました。「粋」なしつらえの街がもつ江戸下町文化を現代的にデザインしたランドスケープ計画です。「場所・人・環境」を大切に、やさしい未来志向のランドスケープを目指しました。



京都迎賓館

先人の価値観を豊かに継ぐ京都迎賓館。庭園計画では、敷地内に生育していた大径木を残し庭園の主要要素として新たな庭に組み込みました。敷地内には池を配しアカマツを植え、低く抑えた屋根越しに望む敷地外の緑等の借景要素との一体化を図りました。



やまぐちフラワーランド

山口県柳井市に立地する花き産業振興施設です。中核施設であるセンタープラザは、里山景観を意識しつつ、庭園やそれを巡る螺旋状の主園路と一体となった、自然にとけ込む形の構成としました。12の庭園群は、既存の植生や棚田地形、水系システムといった「土地の記憶」を保全しつつ、来園者に「学び」と「やすらぎ」を提供します。

